

## Ⅱ. 特 集

### 健康福祉社会を支える人材の育成・確保

我が国では高齢化が急速に進んでおり、いわゆる団塊の世代の方々が75歳以上となる平成37年には高齢化率が30%、75歳以上の人口の割合が18%に達すると推計されています。

本県においても、75歳以上人口は、平成26年の77万人が平成37年には約1.5倍の117万人になると推計されており、今後、急速に高齢化が進んでいくものと見込まれています。

<人口の将来推計>

(単位：万人)

		0～14歳	15～64歳	65歳以上		計	65歳以上の割合(%)	
					うち75歳以上			うち75歳以上
全 国	平成26年	1,623	7,785	3,300	1,592	12,708	26.0	12.5
	平成37年	1,324	7,085	3,657	2,179	12,066	30.3	18.1
愛 知 県	平成26年	104	463	171	77	744	23.2	10.4
	平成37年	90	450	194	117	735	26.4	15.9

資料 H26：「人口推計（平成26年10月1日現在）」（総務省統計局）、「あいちの人口（平成26年10月1日現在）」（愛知県県民生活部） 計には年齢不詳を含むため、年齢区分の合計とは一致しない。

H32：全国「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）、愛知県「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）

高齢者が増加することに伴い、医療や介護が必要な高齢者も今後増加することが見込まれ、これまで以上に医療・介護人材の確保が必要になります。

一方、少子高齢化の進展により、労働力人口は減り続けており、様々な業種が人手不足に陥っている中で、医療・介護分野における人材確保を図ることは、喫緊の課題であり、勤務環境や処遇改善などの取組を進めていく必要があります。

また、保育所に入れない待機児童の解消や地域ニーズに応じた多様な保育サービスの充実を進めていくうえで、保育士の確保対策も重要な課題です。